

長田真実さんがホールオルガニストに就任

リニューアルしたパルナソスホールに、姫路市出身の長田真実さんが新オルガニストとして就任。12月1日(土)には就任記念コンサートを開催します。

—オルガンとの出会いは

パルナソスホールです。小学生のときに初めて鍵盤の前に座り、自分の手で鳴らしたとき、その壮大な響きに圧倒されました。大きすぎるランドセルを背負ったような、とにかく自分には大きすぎる楽器だと感じる一方で、一つひとつの繊細な音が大きな空間に柔らかく響いていく美しさに感動したことも覚えています。そのときから、オルガニストに大きな憧れを抱くようになりました。

—ホールオルガニストとして就任されます

姫路はわたしのふるさとで、パルナソスホールはわたしにとって原点。日本での活動を新たにスタートするときにはこのようなめぐりあわせがあったこと、リニューアルという節目に就任できること、生まれて初めてふれたオルガンと関わっていけることは思ってもみなかったチャンスで、幸せを噛みしめています。

—ドイツでの留学生活は

東京藝術大学大学院音楽研究科オルガン専攻を卒業し、2012年にドイツのシュトゥットガルト音楽演劇大学へ留学、ドイツ国家演奏家資格を取得し今年3月に帰国しました。

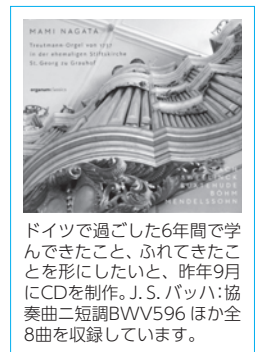
ドイツの人々は主張は強いけれどオープンでウェルカム。いつもリラックスしていて穏やかです。それは、芸術にふれる豊かな時間を持つことが日常の一部になっているからだと感じました。どんなに小さな村にも街にも教会があり、その中にはオルガンがある。教会が生活の中心であり、音楽を聴く場にもなっている。そのような環境に身を置きオルガンを学んだことは、わたしにとってかけがえのない財産になりました。



—今後の予定や抱負を教えてください

12月の演奏会では、ホールの新たな幕開けと、そこに就任させていただくわたしの希望と喜びが詰まったプログラムをお届けします。来年3月には、夫でドイツ在住のオルガニスト大平健介と「ダンス」をテーマにオルガン連弾の演奏会を予定しています。1台のオルガンをふたりで演奏するだけでなく、ポジティブオルガンとの2台でのデュオも考えています。また、オルガンと他楽器のコラボレーションも、楽しみにしている試みの一つです。

オルガンは足を運ばないと出会えませんから、たくさんの方に、姫路にあるこの貴重な楽器と出会ってほしいですし、市民の皆さん、地域の皆さんにもっと愛されてほしいです。ドイツで感じた素晴らしい音楽の世界を、広く発信していきたい。ふるさとだからこそ、より強くそう思います。



ドイツで過ごした6年間で学んできたこと、ふれてきたことを形にしたいと、昨年9月にCDを制作。J.S. バッハ：協奏曲二短調BWV596 ほか全8曲を収録しています。

オルガニスト就任記念
長田真実
パイプオルガンコンサート
～ふるさと姫路に想いを寄せて～



新オルガニストによる記念演奏会

プログラム／

G. ヘンデル：オルガン協奏曲 ヘ長調
「カッコウとナイチンゲール」
より

K. ヨハンセン：希望の歌

松岡あさひ：ぶらんこ

C. フランク：コラール 第1番 ホ長調 他

12月1日(土) 15:00～、パルナソスホール
／無料(全自由席)

NHK交響楽団第1コンサートマスター篠崎史紀
& N響メンバーによるNew Yearコンサート



篠崎「マロ」史紀、2019年新春に再来姫

プログラム／ J. シュトラウス I 世：ケッテンブリュッケン・ワルツ
ヨゼフ・ランナー：モーツァルト党
クライスラー：愛の喜び
J. シュトラウス II 世：美しく青きドナウ 他



篠崎史紀 (ヴァイオリン) 山岸 努 (ヴァイオリン) 横溝耕一 (ヴィオラ) 桑田 歩 (チェロ) 本間達朗 (コントラバス)

2019年1月21日(月) 19:00～／パルナソスホール／
一般 3,000円、高校生以下 1,500円(全席指定)
※未就学児の入場はご遠慮ください。